

総務経済常任委員会と
民生文教常任委員会の各委員が
皆様のご意見を伺いにまいります

総務経済常任委員会が 玉村町商工会を訪問しました！

予定時間を大幅に超えた意見交換会



商工会の
主な
事業内容

- ① プロのコンサルタントによる経営支援
- ② ロゴ・チラシ・ホームページ作成支援
- ③ 融資相談（桐生信用金庫と連携包括協定締結）
- ④ 税務相談（記帳・決算等）
- ⑤ 各種公的支援金の紹介等

報告

総務経済常任委員会は6月7日に玉村町商工会にお邪魔し、商工会の取組や町内の小規模事業者の現状についてお話を伺いました。

最近話題のインボイス制度や定額減税については、インボイス制度導入のための経費の問題や定額減税のための事務手続きの煩雑さ等、小規模事業者に重くのしかかる切実な現場の声を伺うことができました。また、小規模事業者持続化補助金等による、商工会の果たす役割についてもお話を伺うことができました。

インボイス制度や定額減税という言葉はニュース等でよく耳にしますが、今回の意見交換会で、より身近な問題としてとらえることができるようになりました。また、これを契機に商工会とのより緊密な関係づくりの必要性を強く感じました。次回は、**民生文教常任委員会**の活動を報告予定です。



玉村町商工会は地域の
商工業発展のために経営指導
員を配置し、小規模事業者の経
営改善を図るために、金融・税
務・経営・労務などの相談に対
応する特別認可法人です。



群馬県佐波郡玉村町
下新田429-2
お問合せ
0270-65-2954

こばやしかずゆき
小林一幸 議員

交通

高崎高等特別 支援学校への 通学の足は

「私の視点」

令和5年11月に策定された
「玉村町公共交通再編基本設
計」に基づき、具体的に施策
展開を行うとのことだが、
利用者の状況を踏まえ取り組
んでいくべきだ。

答弁（町長） 通学の足をなくさないよう考える

問 公共交通の今後について考え方は。

答（町長） 令和5年度に実施したアンケート調査等により、現行のたまりんや路線バスについては、住民ニーズを満足させることはできていないと評価している。

また、通学時間帯の公共交通が脆弱であることも判明しているため、令和5年11月に「玉村町公共交通再編基本設計」を策定し、令和6年度にその基本設計をより具体的にした施策を展開していく予定である。

問 たまりん再編についての今後の方向性は。

答（町長） 基本設計で、たまりんはデマンド運行へと転換することが策定されている。実施に向け、昨年度から多くのステークホルダー（※）と協議を重ね、5月末日に行われた玉村町地域公共交通会議において、区域運行と呼ばれるデマンド運行の運行方法と現行たまりんの廃止の

調整ができた。現行のたまりんよりも運行時間が短くなったり、高崎市内への乗り入れができなくなったりということもあるが、十分に住民ニーズに応えられるものであると考えている。

問 町外路線が伊勢崎便のみになることで、現在、高崎便を利用している高崎高等特別支援学校に通学している学生などの対処は。

答（環境安全課長） 代替案として、行き帰りを何らかの方法で町のほうで通学の足をなくさないようにしたいと考えている。

報酬改定に伴う事業所支援体制整備を

問 報酬改定に伴う相談窓口体制は。

答（町長） 改定に伴い体制づくり等で事務作業が増えている。混乱が生じないよう、国や県から示される情報を速やかに提供していくとともに、事業者と積極的に接点を持ち、良好で相談しやすい関係づくりに努める。

問 介護事業者の相談窓口は健康福祉課でよいのか。

答（健康福祉課長） 一緒に考えていくことはできと思うので相談してほしい。

こんな質問もしています

・行政窓口での対応について

※ステークホルダー…直接的・間接的に影響を受ける利害関係者



公共交通の在り方の検討にゴールはない